

教育民生常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和5年10月13日(金) 第2委員会室
2. 出席委員 五島誠委員長 赤木忠徳 横路政之 宇江田豊彦 藤木百合子
3. 欠席委員 前田智永副委員長
4. 事務局職員 山根啓荘議会事務局長 橋本和憲議会事務局主任主事
5. 説明員 なし
6. 傍聴者 なし
7. 会議に付した事件
 - 1 所管事務調査について
 - 2 その他

午前9時59分 開 議

○五島誠委員長 ただいまより教育民生常任委員会を開会いたします。本日の出席委員は5名であります。前田副委員長より欠席届が出されています。本日の会議におきまして、傍聴、写真撮影、録音、録画を許可しています。

1 所管事務調査について

- 五島誠委員長 それでは、早速、協議事項の1番、所管事務調査について、不登校特例校の行政視察等を検討していますが、その検討状況について、まずは事務局から説明をしてください。
- 橋本和憲議会事務局議事調査係 それでは、説明いたします。今回、モアノートに掲載している厚生労働省の特例校の設置状況の中から、公立学校で、宮城県の白石市立白石南小中学校、富谷市立富谷中学校西成田教室を視察先の候補として挙げて、調整いたしました。パンフレット等を、同じようにモアノートに載せています。結論から申しますと、白石市は、議会事務局が調整をされるのですが、議会も近いということもありますし、教育委員会もその時期は忙しく、対応できないとのことでした。もし対応するとしたら、来年になるかと思えます。午前中に話ができて、授業も見られるとのことでした。富谷市は、受け入れができるとのことでしたが、不登校児童生徒のため、学校から帰られた後、夕方に施設内を見たり先生方の話を聞くことは可能であるとお伺いしています。そういった状況です。
- 五島誠委員長 以上の状況で、若干難しいところもあるのですが、どのようにいたしますか。皆様の意見をください。1つは、時期を変えるという考え方と、もう1つは、行き先を変えて、再度検討してみるというのがあります。資料の1番、特例校の設置状況で、公立にマーカーで印をしています。無理に宮城県のところにこだわることもないのかなというのがあります。そういったこともあわせて、皆様の意見をください。いかがですか。赤木委員。
- 赤木忠徳委員 特に宮城県の学校については、早くから対応した学校ですので、一度見てみたいという思いがしています。北海道など、いろいろと検討した中で、私立となると、誰もが行くことはできない。金額的にも、年間150万円くらい要るので、公立学校を中心に勉強をしてみたいという気持ち

を持っています。

○五島誠委員長 他にありますか。横路委員。

○横路政之委員 私も、赤木委員と同じように、公立の施設がいいと思います。先ほど説明があったように、少し歴史もあるので、そういったところは、長年の経験値等も持っておられると思います。時期をずらすというのも手かなと思いますけれども、どうですか。

○五島誠委員長 藤木委員。

○藤木百合子委員 今言われたような状況でいいと思います。私立だと、いろいろな校風というか、さされている方の思いがあって、面白いと言ったらおかしいのですけれども、いろいろと特徴的なものもあるかもしれないですが、公立でどんな取り組みができているのかを見てみたいと思います。

○五島誠委員長 皆さんの意見として、公立の学校を見たいというのは、もちろん、私もそのとおりです。そうした中で、宮城県の白石市については、日本で初めてのところもあって、現在、視察もかなり多く受け入れされているようです。そうした中で、考え方なのですから、全国では、公立で14校が特例校に取り組みられています。改めて、皆さんの御意向をどちらかに集約してもらいたいの、先ほど横路委員から提案があったように、宮城県の2校について、時期を変えるように検討するのか、もしくは、例えば、香川県、奈良県、京都府、岐阜県にもありますので、そのほかの公立学校を11月に視察するのか、この2択かと思います。どちらかで集約したいのですが、いかがですか。赤木委員。

○赤木忠徳委員 まだ調べていないのですが、東京都の八王子市と調布市、特に、調布市は平成30年に開校しています。八王子市も平成16年で、結構早くから対応しているので、この2つの情報があれば調べてもいいのかなと。八王子市は小中一貫校、調布市は中学校です。こういうところもないことはないと思います。きょう結論を出すのではなく、調べた上で、資料を取り寄せられれば、どちらかにするという形で、決して白石市だけがいいわけではないので、幅広く参考にしたいという思いです。

○五島誠委員長 他にありますか。藤木委員。

○藤木百合子委員 時期ずらせば、というのがあったではないですか。あれは、学校の都合で調整が難しいということですね。時期をずらすとなると、来年度ということですか。

○五島誠委員長 事務局から再度説明をお願いします。

○橋本和憲議会事務局議事調査係 補足しますと、調整をしたときに、白石市は、今までいろいろな形で不登校児童生徒に対応をされていて、このたび、義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律、通称、教育機会確保法の施行後に設置される全国初の市立小中一貫の不登校特例校ということで、開設自体は、令和5年4月にされています。それまでもいろいろな取り組みをされているところで、そういった経緯等もあると思いますが、10月、11月は視察でいっぱい、それ以降は、議会や市民の皆さんと語る会があり、教育委員会の皆さんも忙しいとのことでした。来年の何月かはまた調整する必要がありますが、来年であれば、という話はお伺いをしています。

○五島誠委員長 そうしましたら、委員長からの提案になるのですけれども、先ほどあったように、来年か、それこそ、年度内なのか年度を越えるのかによって予算的なものも変わってきますので、一旦、11月の方向で、他の学校も当たりながら調整して、そこを見た後で、改めてもう一度行こうとなれば、来年度もあります。そうした中で白石市も対応していきたいと思います。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○五島誠委員長 では、そのようにします。委員長、副委員長と事務局でもう少し検討します。時期的

なところについては、先般の委員会で確認をしましとおり、11月の最終週に近いところで、12月議会との兼ね合いもあって少しタイトな日程にはなります。そういうこともあって、ひよっとすれば、どこの学校も難しいということも考えられるのですけれども、一応、そちらを第1候補で検討します。また、経過については、都度、皆様にお知らせしますので、よろしく願いいたします。それでは、この件についてはこの程度で閉じます。

2 その他

○五島誠委員長 2番、その他で、現在、当委員会では5項目にわたり閉会中の継続調査項目を設けています。先般も、子育て支援施設の関係、あるいは、少子化対策といったところで、管内視察や奈義町への視察を行いました。他の事項についても、先般の決算審査分科会の中で、それぞれ、少しずつ現状が見えてきた部分もあるかと思えます。具体的には、保健医療課の、例えば、無医地区、特に、西城市民病院の比和などへのサテライト対応のこと。生活交通については、現在の状況もあわせて、新しくできた担当課とも少しお話ができましたが、改めて時間を設けて、レクチャーを受ける時間も必要かと思えます。次回の委員会の日をここで設定して、その中で調整をしていきたいと思えます。ということで、この委員会では、月に2度の定例化をしていこうと言っていますので、流れでいきますと、次回は、10月27日の金曜日、もしくは、週をまたぎまして、10月30日あたりで委員会を設定すればどうかと思うのですけれども、皆様の御都合はどうですか。暫時休憩します。

午前10時13分 休 憩

午前10時14分 再 開

○五島誠委員長 再開します。休憩間に皆様からの都合を聞きました。10月27日、金曜日、10時からで設定したいと思います。よろしく願いいたします。そのほか、皆さんから何かありましたらお願いいたします。よろしいですか。事務局。

○橋本和憲議会事務局議事調査係 モアノートに、赤木委員より話のありました、旧川北小学校を活用した学校の新聞記事やホームページのパンフレットと、あわせて、三軒茶屋を活用したみんなの学び場というサポートの場の資料を添付していますので、御参考ください。

○五島誠委員長 皆さんに、こちらの資料を参考にしてもらいまして、また都度、情報提供できるものがありましたら提供していきたいと思えます。よろしく願いいたします。赤木委員。

○赤木忠徳委員 同じように、西城町で不登校や引きこもりの人たちを集めているいろいろなイベントを行っている、社会福祉協議会を中心として活動しているグループがありますので、それも、パンフレットとか、そういう動きがあれば載せてもらえればありがたいです。

○五島誠委員長 他によろしいですか。では、以上をもって教育民生常任委員会を閉じます。

午前10時16分 散 会

庄原市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

教育民生常任委員会

委員長